

## 巻 頭 言



長野県知事 阿部 守一

# 東京オリンピック・パラリンピック に向けた「グローバルNAGANO」の展開

20年前、自治省勤務の時代に、私は地方の国際化支援として、自治体国際化協会の支部の全国設置に取組みました。国際化の推進が今後の地方の発展に不可欠との強い思いからでしたが、長野県知事に就任以来、その思いは益々強くなっています。人口減少社会の進展の中で、国を挙げて地方創生に取り組んでおりますが、この国家的課題の解決に向けた一つの活路が、海外との交流と考えます。

こうした中、長野県では、産業の国際展開・国際競争力の強化と世界への貢献、NAGANOブランドの構築を行い、官民を挙げて海外の成長市場の活力を取り込むための旗印として、2016（平成28）年10月に「グローバルNAGANO戦略プラン」を策定しました。

アジアでは、来年2018年の韓国（平昌）を皮切りに、2020年東京、2022年中国（北京）と続けてオリンピック・パラリンピックが開催されます。1998年の長野冬季オリンピック・パラリンピックを成功させた本県としては、中国、韓国を軸に経済交流を強化する機会と捉えています。

長野県は、1983（昭和58）年に中国河北省と友好交流提携を締結し、「官民を挙げた顔の見える関係づくり」に力を入れています。特に本県では、60年以上にわたり、交流を積み重ねてきた長野県日中友好協会とともに関係を構築してきたことが大きな強みです。

昨年9月には、<sup>とうかせん</sup>唐家璇中国日本友好協会会長が長野県を訪問され、本県が推進する官民一体交流を、日中友好交流の「新たなイノベーション」であると高い評価をいただきました。

昨年、中国国家体育総局との間で、北京冬季五輪支援や東京五輪のホストタウン開催への協力などを通じた友好交流提携を強化させる覚書を締結しました。こうした成果を踏まえ、長野県は、唯一、中国を相手国とする「ホストタウン」に3市（上田市・須坂市・飯山市）、2町（下諏訪町・山ノ内町）とともに登録されました。今後、新たに長野市を加え、具体的な交流事業を実施していきます。

また、私は、長野県知事として、初めて韓国を訪問しました。ソウル特別市とは「観光協約」、江原道とは、友好交流協約を締結し、本年4月には、信州まつもと空港に韓国からのチャーター便が就航するなど具体的な成果も出ています。今後、江原道とは、平昌五輪支援をはじめ、観光、文化、経済等様々な分野で交流を進めていく予定です。

国家間の政治情勢が厳しい時であっても、地方間の国際交流にしっかりと取り組むことで信頼関係を構築していくことが大切です。世界が注目するオリンピック・パラリンピックに向けて、「local to local」「people to people」による地方間交流を進めることにより、世界水準の山岳観光や製造業の優れた技術力、高品質な農産物等の強みや魅力を最大限PRし、「NAGANO」の存在感を高めていきたいと思っております。